



ジレンマな恋

鈴原ゆん





殺風景な部屋ですが  
どうぞ寛いで下さい

殺風景だなんて…  
とても素敵ですっ

上着を脱いで  
楽にして下さいね

何かに  
酒のつまみは  
なるものは  
あったかな…

あっ！そんな  
お気づかいなく！



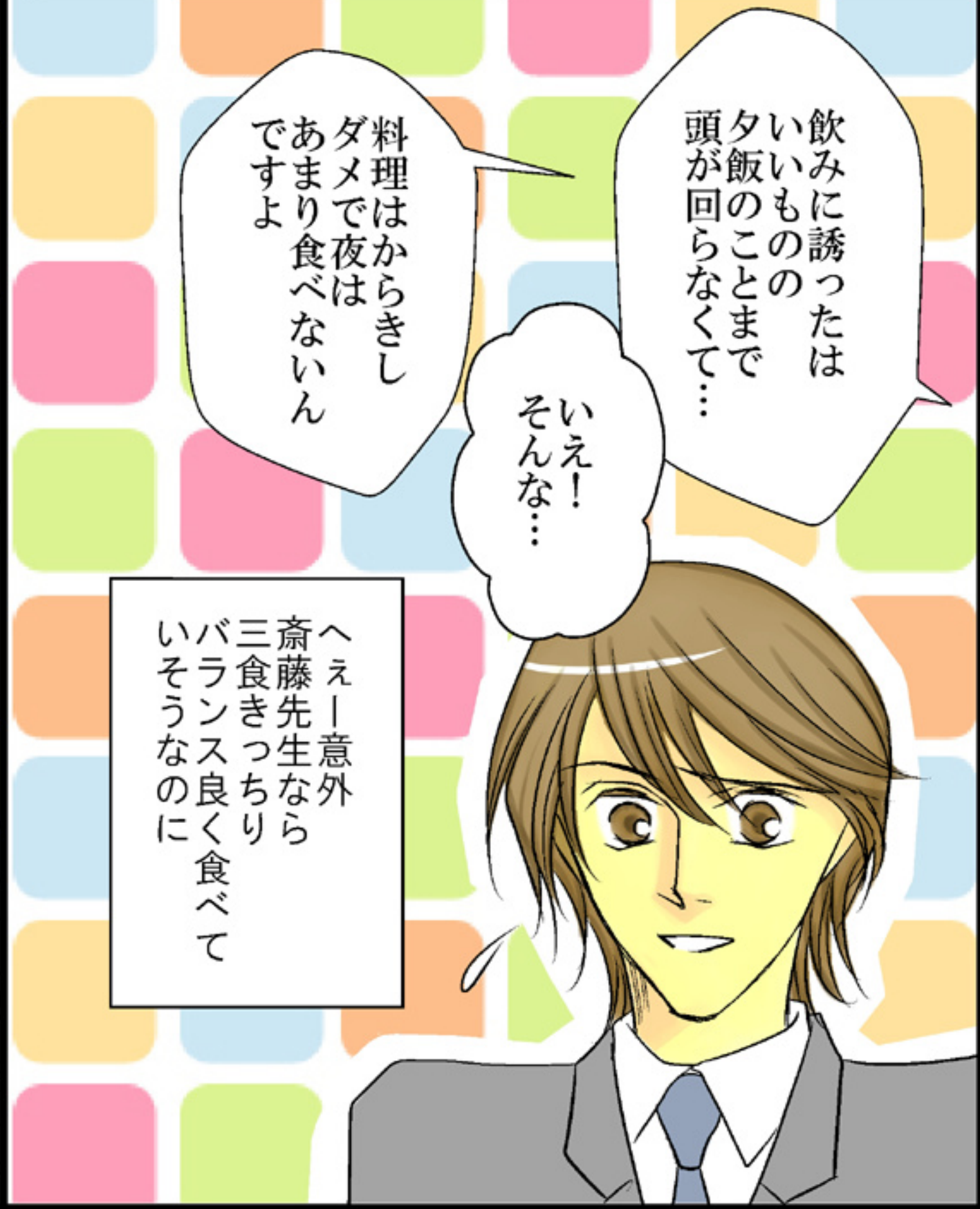




俺はコンビニに  
弁当をつまみに  
しますからっ



すみません  
宇野先生



飲みに誘ったは  
いいものの  
夕飯のことまで  
頭が回らなくて…

いえ!  
そんな…

料理はからきし  
ダメで夜は  
あまり食べないん  
ですよ

へえー意外  
斎藤先生なら  
三食きっちり  
バランス良く食べて  
いそうなのに



ヒューン

でも酒だけは  
山のように  
ありますから  
ご心配なく

ビールから  
行きますか?  
ワインにしますか?



えっと…じゃあ  
ビールを  
頂きます…

参ったな  
誘ってもらったのは  
嬉しいけど—



アルコールは…俺  
凄く弱いのに







宇野先生



俺なんか  
全然そんなじゃ  
ないのに



初めて彼を  
見た時



—で、青木君が  
言う訳ですよお

『振られた事  
ありませんって  
ツラしてる』って…



# **eternal**

**BLACK∞LABEL**

本書の無断転載・複製等は、著作権法禁止されております。